

阪神港におけるCONPASの概要

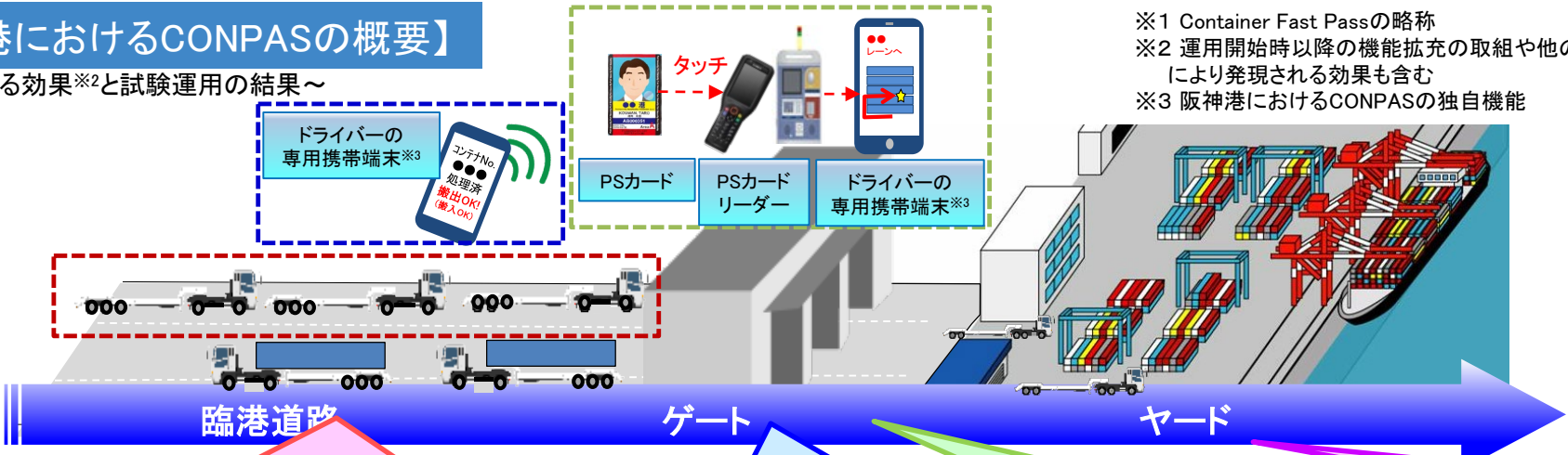
- 阪神港におけるCONPASの概要 P. 2
- 阪神港におけるコンテナターミナル前の渋滞などの状況 P. 3
- 阪神港におけるCONPAS予約の流れ P. 4
- 専用携帯端末を活用した阪神港におけるCONPAS P. 5

阪神港におけるCONPASの概要

- CONPAS※1は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的として国土交通省が開発したシステム。
- 阪神港では、利便性の向上を目指し、阪神港の独自機能としてCONPAS専用携帯端末等を導入。
- 阪神港における当面のCONPAS導入ターミナル及び運用開始予定時期については、大阪港夢洲コンテナターミナルは令和6年3月末、神戸港PC-18は令和6年度上半期を予定。その他のターミナルについては今後、導入に向けた検討を進める。

【阪神港におけるCONPASの概要】

～期待される効果※2と試験運用の結果～



- ※1 Container Fast Passの略称
- ※2 運用開始時以降の機能拡充の取組や他のシステムとの連携により発現される効果も含む
- ※3 阪神港におけるCONPASの独自機能

①搬出入予約
 予約制度の導入により、トレーラー到着時間を平準化

②搬出入情報の事前確認
 事前の搬出情報の確認、搬入情報の照合により、ゲートでのトラブルを回避

③PSカード・携帯端末の活用
 PSカードタッチ処理・携帯端末による行先表示※3により、ゲート処理時間を短縮

④予約情報・車両接近情報の活用
 CONPASを通じた車両情報等の活用により、ヤード処理を効率化

【試験運用結果】
 ・**予約制度・CONPAS専用レーン**の設定等により、ほぼ**全てのCONPAS車が予約時間どおりにコンテナターミナルゲート到着**
 ・大阪港DICT(実入搬出)の**ゲート前待機時間**について、CONPAS車は通常車と比較して、平均**約30分減**を確認
※大阪港DICT第5回試験運用・神戸港PC18第4回試験運用(R5.7～8)

【試験運用結果】
 ・**ゲート処理時間**(実入搬出)が、平均**約1分減**
※大阪港DICT第2回試験運用(R4.8～9)
 ※神戸港PC18第2回試験運用(R3.8～9)
 ・CONPAS車では搬入票エラー等によるゲート待機無し
※大阪港DICT第5回試験運用・神戸港PC18第4回試験運用(R5.7～8)

【試験運用結果】
 ・ターミナルオペレーションシステムへ、CONPAS予約情報等のデータ送信機能を構築

【更なる将来展開】
 ・CONPAS利用の拡大を図りつつ、トレーラー到着時間の平準化を目指す

【更なる将来展開】
 ・より効率的なゲート処理に向けて、CONPASの機能拡充を図る

【更なる将来展開】
 ・ターミナル事業者等と連携し、CONPAS予約情報の活用によるヤード処理の効率化を目指す

阪神港におけるコンテナターミナル前の渋滞などの状況

- コンテナ船の大型化により、一度に積み卸されるコンテナ積卸個数が増加することで、トレーラーの来場時間が特定の日時に集中し、ターミナル前での渋滞発生の一因となっており、改善が求められている。
- また、物流の停滞が懸念される「2024年問題」等も踏まえて、より効率的なコンテナ物流が求められている。

◆臨港道路の待機車両の状況



大阪港

コンテナターミナルに向かう車列

コンテナターミナルに向かうコンテナ車両(R5.12)

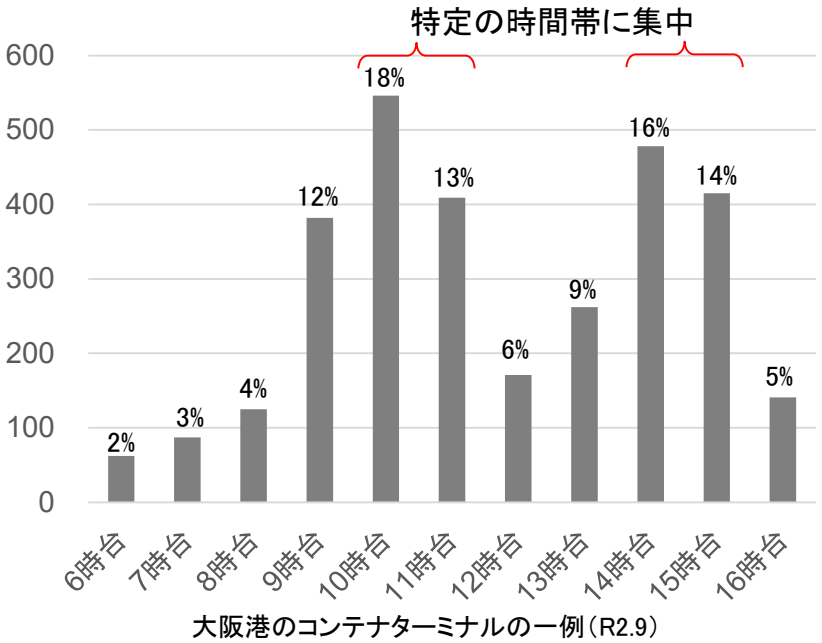


神戸港

コンテナターミナルに向かう車列

コンテナターミナルに向かうコンテナ車両(R5.7)

◆時間帯別コンテナ車両来場台数



◆コンテナターミナル入場時の車両待機場の状況



大阪港 夢洲 車両待機場

18列全列に車両が待機

待機場 出口

コンテナターミナル前の車両待機場(引取)にて入場を待つコンテナ車両(R6.1)

◆コンテナターミナルでの手続き



大阪港

引取レーン車列



神戸港

行先指示書の発行

阪神港におけるCONPAS予約の流れ

実入り搬出(輸入コンテナの引取)

○海貨事業者起点のCONPAS予約の流れ

海貨事業者

【コンテナ情報の取得】
ターミナルからコンテナ情報の取得

【海コン事業者へ作業依頼】

- ① 予約番号・コンテナ番号などの入力
- ② 海コン事業者への作業依頼



海コン事業者 (配車係)

【海貨事業者からの作業依頼受託】

- ③ 作業依頼受託可否の選択

【引取予約】

- ④ 引取日と時間枠の予約

【配車係からドライバーへ指示】

- ⑤ ドライバーの選択



海コン事業者 (ドライバー)

【作業確認】

- ⑥ 作業受付ボタンの押下

【ゲート入場】

- ⑦ PSカードワンタッチ入場
- ⑧ CONPAS専用携帯端末による行先表示

○海コン事業者起点のCONPAS予約の流れ ※灰色文字は、CONPAS以外の方法による作業

海貨事業者

【コンテナ情報の取得】

- ① ターミナルからコンテナ情報の取得

【海コン事業者へ作業依頼】

- ② 海コン事業者への作業依頼



海コン事業者 (配車係)

【コンテナ情報の入力】

- ③ 予約番号・コンテナ番号などの入力

【引取予約】

- ④ 引取日と時間枠の予約

【配車係からドライバーへ指示】

- ⑤ ドライバーの選択



海コン事業者 (ドライバー)

【作業確認】

- ⑥ 作業受付ボタンの押下

【ゲート入場】

- ⑦ PSカードワンタッチ入場
- ⑧ CONPAS専用携帯端末による行先表示

実入り搬入(輸出コンテナの搬入)

海貨事業者

【海コン事業者へ作業依頼】

- ① Booking情報の入力
- ② 海コン事業者への作業依頼

【搬入情報の事前照合】

- ③ 搬入情報の事前照合



海コン事業者 (配車係)

【海貨事業者からの作業依頼受託】

- ④ 作業依頼受託可否の選択

【搬入予約】

- ⑤ 搬入日と時間枠の予約

【配車係からドライバーへ指示】

- ⑥ ドライバーの選択



海コン事業者 (ドライバー)

【作業確認】

- ⑦ 作業受付ボタンの押下

【ゲート入場】

- ⑧ PSカードワンタッチ

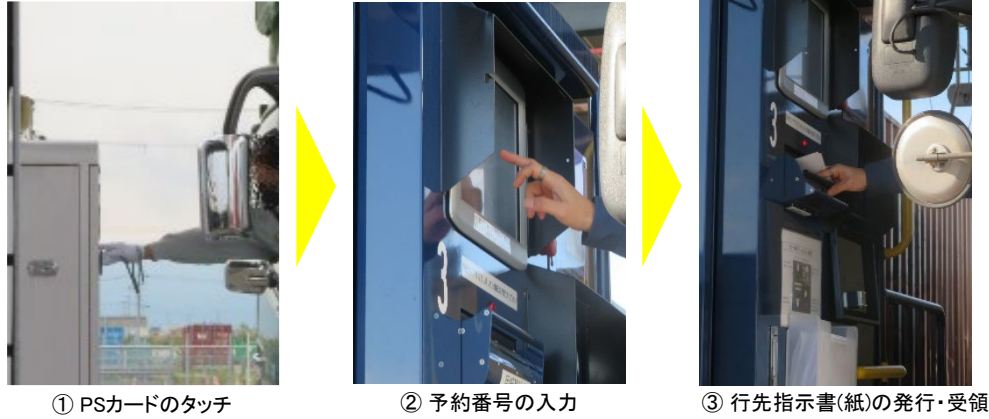
※ダメージチェック、EIRの発行等は、非CONPAS車同様の手続きが必要

専用携帯端末を活用した阪神港におけるCONPAS

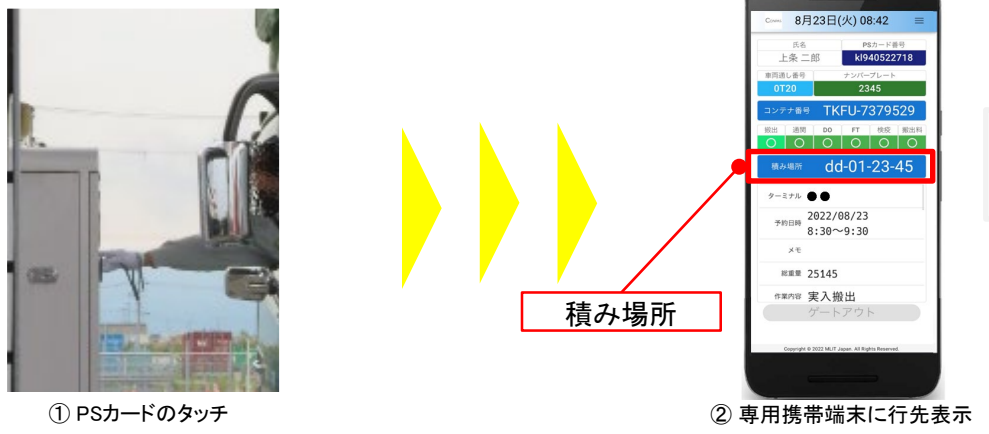
- ゲートでPSカードをかざすと同時に、CONPAS専用携帯端末に搬出コンテナの蔵置場所が表示され、従来必要であった紙の行先指示書の発行・受領の手間が省け、ペーパーレス化にもつながる。
- 海上コンテナ輸送事業者の配車係からドライバーへの作業依頼を専用携帯端末に表示することで正確な情報伝達が可能。
- 事前の搬出情報の確認、搬入情報の照合により、ゲートでのトラブルを回避。
- 専用携帯端末のGPS機能を利用し、ターミナル周辺のトレーラー位置情報の把握等が可能。

◆専用携帯端末に搬出コンテナの蔵置場所表示

【従来のゲート手続(イメージ)】



【CONPAS予約車のゲート手続(イメージ)】



- ゲートでの手続きの効率化、処理時間の短縮
- 紙の行先指示書の発行が省略されペーパーレスに寄与

◆海上コンテナ輸送事業者の配車係からドライバーへの作業依頼

◆専用携帯端末による搬出入情報の事前確認



- 配車係からドライバーへの正確な情報伝達
- 搬出入情報の事前確認によるゲートトラブル回避

◆専用携帯端末のGPS機能の利用(車両位置情報の把握・車両接近情報の送信)



- 物流の効率化に向けた専用携帯端末のGPS機能の有効活用